

## 引用文献

- 荒木順子、中田康子、乙崎亜希子、前田咲子、西恵利奈ら.(2015).在胎 36 週以降で低出生体重児を出産した母親の母乳育児への思いー母子同室から 1 ヶ月健診までー:第 45 回日本看護学会論文集 ヘルスプロモーション,45,163-166
- Beck,C.T.(2004).Birth Traum,in the Eye of the Beholder:Nursing Research,53(1),28-35.
- Creedy,D.K.,Spochet,I.M.and Horsfall,J.(2000).Childbirth and the development of acute trauma symptoms:incidence and contributing factors:Birth,27(2),104-111
- Charlotte Elvander,Sven Cnattingius,Kristen H.Kjerulff.(2013).Birth experience in women with low, intermediate or high levels of fear. Findings from the First Baby Study : Birth, 40(4),
- 長谷川文、村上明美.(2005).出産する女性が満足できるお産ー:母性衛生,45(4),489-495.
- 林時仲.(2012).もう一度確認しておきたいSTSの効果とSTS実施に向けた今後の対応:ペリネイタルケア,31(2),126-130.
- 堀内勁.(2010).出生直後の皮膚と皮膚の接触の意義と安全性:日本母乳哺育学会誌,4(2),60-72.
- 池田友美、入山茂美.(2014).妊娠期に夫婦で行う出産育児準備と夫の育児意図の関連:母性衛生,55(1),95-101.
- 市川きみえ、鎌田次郎.(2009). 豊かな出産体験をもたらす助産とはー出産体験尺度 (CBE-scale) による調査ー:母性衛生,50(1),79 - 87
- 飯田真理子.(2010). “女性中心としたケアー妊娠期尺度” の開発とその妥当性と信頼性の検討:日本助産学会誌,24(2),284-293.
- 厚生科学研究補助金 政策科学総合研究事業.(2013). 母親が望む安全で満足な妊娠出産に関する全国調査: <http://minds4.jcqhc.or.jp/minds/pregnancy/G0000595/01Introduction.pdf> [2017.01.25 アクセス]
- 厚生労働省.(2010). 平成 22 年度我が国の保健統計: <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/hoken/national/dl/22-03.pdf> [2017.01.25 アクセス]
- 厚生労働省.(2015). 平成 27 年度雇用均等基本調査. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-27-07.pdf> [2017.01.25 アクセス]
- 厚生労働省.(2016). イクメンプロジェクト <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/> [2017.01.25 アクセス]

- Madeleine Simpson, Christine Catling. (2016). Understanding psychological traumatic birth experiences: A literature review: *Women and Birth*, 29, 203-207.
- 前田尚美、山本八千代、草野知美、須藤桃代、笹尾あゆみら. (2016). 乳幼児を養育する母親のQOLと影響因子：母性衛生, 57(2), 357-365
- 松本鈴子、横尾京子、岡村仁、中込さと子. (2006). 産後1ヶ月における出産に伴う母親の心的外傷後ストレスの出現－NICU入院児の母親と健常新生児の母親の比較－：広大保健学ジャーナル, vol6(1) 71-80.
- 三砂ちづる、竹原健二. (2009). いいお産とはどのような体験か：助産雑誌, 63(1), 22-31.
- 森田亜希子、森恵美、石井邦子. (2010). 親となる男性が産後の父親役割行動を考える契機となった妻の妊娠期における体験：母性衛生, 51(2), 425-432.
- 内閣府. (2016). 平成28年度版少子化社会対策白書： [http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2016/28webhonpen/html/b1\\_s1-1-1.html](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2016/28webhonpen/html/b1_s1-1-1.html) [2017.01.25 アクセス]
- 内閣府. (2016). さんきゅうパパプロジェクト： [http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/etc/project/pdf/kick\\_off-2.pdf](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/etc/project/pdf/kick_off-2.pdf) [2017.01.25 アクセス]
- 内閣府. (2016). 夫の協力 - 少子化対策 -： <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/data/ottonokyouryoku.html> [2017.01.25 アクセス]
- 中野美香、森恵美、前原澄子. (2003). 出産体験の満足する要因について：母性衛生, 44(2), 307-314.
- 中野美佳. (2011). 肯定的出産体験をもたらすための看護－出産体験の想起・統合を促す看護の効果の検証－：母性衛生 52(1), 111-119.
- 中島久美子、早川有子、常盤洋子. (2016). 妊娠期および産後における夫婦の関係性－夫婦満足度、妻が満足と感じる夫の関わりの関連－：母性衛生 57(1), 82-89.
- 野口真貴子. (2002). 女性に肯定される助産所出産体験と知覚知：日本助産学会誌, 15(2), 7-14.
- 及川裕子、宮田久枝、新道由記子、登日麻並. (2012). 現代日本における男性と出産・育児：園田学園女子大学論文集, 46, 43-58.
- 大橋知恵子、藤川博子、川端そよ花、川畑仁美、大上千賀. (2015). 立ち合い分娩において初産婦が夫から得た援助の実際と満足度－産婦の年代別で比較して－：第45回日本看護学会論文集 ヘルスプロモーション, 45, 3-6.
- Rachel Reed, Rachael Sharman, Christian Inglis. (2017). Women's descriptions of

- childbirth trauma relating to care provider action and interactions: *BMC Pregnancy and Childbirth*, 17:21
- Sharon Moloney, Susan Gair. (2015). Empathy and spiritual care in midwifery practice: Contributing to women's enhanced birth experiences: *Women and Birth*, 28, 323-328.
- Soet, J.E., Brack, G.A. and Dilorio, C. (2003). Prevalence and predictors of women's experience of psychological trauma during childbirth: *Birth*, 30(1), 36-46.
- 相良順子、伊藤裕子、池田政子. (2008). 夫婦の結婚満足度と家事・育児分担における理想と現実のずれ: *家族心理学研究*, 22(2), 119-128
- 齊藤佳余子、長谷川ともみ、永山くに子. (2013). 反復帝王切開を受けた母親が手術直後に体験したカンガルーケアの主観的体験: *富山大学看護学会誌*, 13(2), 83-92.
- 佐藤愛、高田昌代、谷川裕子、新道幸恵、西野加代子ら. (2006). 女性の分娩体験から抽出したケアニーズに対するドゥーラの役割に関する検討—40～50代女性の体験から—: *青森保健大雑誌*, 7(2), 281-288.
- 佐藤彰子、梅野貴恵. (2011). 褥婦のバースプランの認識と出産満足度との関連に関する研究: *日本助産学会誌*, 25(1), 27-35.
- 末永芳子、嶋松陽子、本田千浪. (2005). 出産体験の心理的影響: *保健科学研究誌*, No2, 51-58
- 鈴木康江、前田隆子、遠藤有里、藤田小矢香、池田智子ら. (2010). 出生時体重が母親の育児に及ぼす影響 0～12 歳児を持つ保護者への調査: *米子医師雑誌*, 61, 93-99.
- 高岡順子. (2009). 夫婦関係の変化, 第 1 回妊娠・出産・子育て基本調査報告書・フォローアップ調査 (妊娠期～0 歳児期) 報告書: *ベネッセ教育総合研究所*, 34-43.
- 竹形みずき、春名めぐみ、村山陵子、松崎政代、村嶋幸代. (2013). 出産時の恐怖感と産痛強度、出産満足度、次の育児への希望との関連: *日本助産学雑誌*, 25(3), 94
- 武市知己、小野美樹、小倉英郎、石黒成人、門田正坦ら. (2005). 少子化対策に求められるものは何か? —育児協力や母親の就労状況、育児困難についての質問紙調査—: *小児保健研究*, 64(4), 542-552.
- 竹原健二、野口真貴子、嶋根卓也、三砂ちづる. (2007). 出産体験尺度作成の試み: *民族衛生*, 73(6), 211-224
- 竹原健二、野口真貴子、嶋根卓也、三砂ちづる. (2008). 助産所が産院における出産体験に関する量的研究—豊かな出産体験とはどういうものか?—: *母性衛生*, 49(2), 275-285.

- 竹原健二、野口真貴子、嶋根卓也、三砂ちづる.(2009).豊かな出産体験がその後の女性の育児に及ぼす心理的な影響:日本公衆衛生誌,56(5),312-321.
- 竹原健二、野口真貴子、嶋根卓也、三砂ちづる.(2009).出産体験の決定因子ー出産体験を高める要因は何かー:母性衛生,50(2),360-372.
- 竹内佳寿子、横手直美.(2016).骨盤位適応による選択的帝王切開を受けた初産婦の主産体験のとらえかた:母性衛生,57(2),483-490.
- Ulla Waldenstrom, Ingegerd Hildingsson.(2004).A Negative Birth Experience:Prevalence and Risk Factors in a National Sample:Birth,31(1),17-27
- 内田明香、坪井健人.(2013).産後クライシス:ポプラ新書
- 脇田満里子、小島康生、入澤みち子.(2003).妊娠・出産が母親の心理に及ぼす影響ー夫からのサポートに着目してー:母性衛生,44(2),244-249.
- 渡辺大地.(2014).産後が始まった！夫による、産後のリアル妻レポート:メディアファクトリー
- 渡辺大地.(2016).両親学級で理想を語るか、現実を語るか:助産師雑誌,70(8),660-665.
- 山崎由美子.(2016).出産にかかわる医療過誤により児に被害が及ぶ経験をした女性の次子の妊娠・出産時に必要とされる支援:母性衛生,56(4),721-728.
- 横手直美.(2005).緊急帝王切開における女性のトラウマの要因ー産褥1週間における出産体験の認識からの分析ー:母性衛生,45(4),432-438.